



2025 年 7 月 3 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 F C E  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 石 川 淳 悦  
(コード番号：9564 東証スタンダード市場)  
問 合 せ 先 取 締 役 コーポレート本部長 加藤 寛和  
(TEL 03-5908-1400)

## 「RPA ロボパット DX」、導入企業数 1,700 社を突破 ～人財育成と高い継続率を両立する充実のサポートが拡大 を後押し～

株式会社 FCE（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：石川淳悦、証券コード：9564）が提供する純国産 RPA ツール「RPA ロボパット DX」は、2025 年 6 月末時点で**導入企業数が 1,731 社**となり、**1,700 社を突破**しました。

この成果の背景には、プログラミング不要で**誰もが活用できる操作性**に加え、導入後の活用を支える**人財育成のプログラムや高い継続率**を実現する仕組みがあります。特に、社内での RPA 定着や展開を担う“社内 DX 人財”を育成する**ロボパットマスター認定プログラム**は、**チャーンレート（解約率）1%台**を下支えする中心的な施策として機能しており、1,700 社への拡大の推進力となりました。

### ・「導入→定着→展開」まで支える仕組み

RPA ロボパット DX は、プログラミング知識を必要とせず、営業や事務といった社員が自らロボットを作成・運用できる RPA ツールです。

2023 年には、「ユーザーが選ぶ【最強 IT ツール】ランキング 50」約 7,300 製品中 第 1 位（※1）

2024 年には、同ランキングで約 10,000 製品中 第 2 位（※2）

2025 年には、BOXIL セクション RPA 部門 第 1 位（※3）

を獲得するなど高い満足度と信頼性の評価をいただいています。

当社では、RPA ツールの多くが「導入してもうまく活用が進まない」という課題を抱える中、当社では「現場で使いこなせる人財を育成すること＝継続率の向上」と位置づけ、ロボットマスター認定プログラムをはじめさまざまな無料サポートなど支援を充実してきました。

その結果として、チャーンレートは 1%台と非常に低く、企業内での定着率・社内展開のスピードも向上。1,700 社という導入数はこうした「導入後を見据えた設計」が評価された結果と考えております。

### ・なぜ「RPA ロボパット DX」が選ばれるのか

#### 1. 誰もが簡単に使える

RPA ロボパット DX は、プログラミングの知識不要で、普段のパソコン操作の延長でロボットを作成・運用できる点が特徴です。IT 部門を持たない中小企業でも導入・活用できる設計になっています。

## 2. 業種・企業規模を問わない汎用性

RPA ロボパット DX は、社員 2 名の小規模企業から、数万人規模のエンタープライズ企業まで幅広く導入されています。また、製造・建設・医療・サービス・教育など、業種を選ばず利用できる柔軟性が、導入のハードルを下げています。

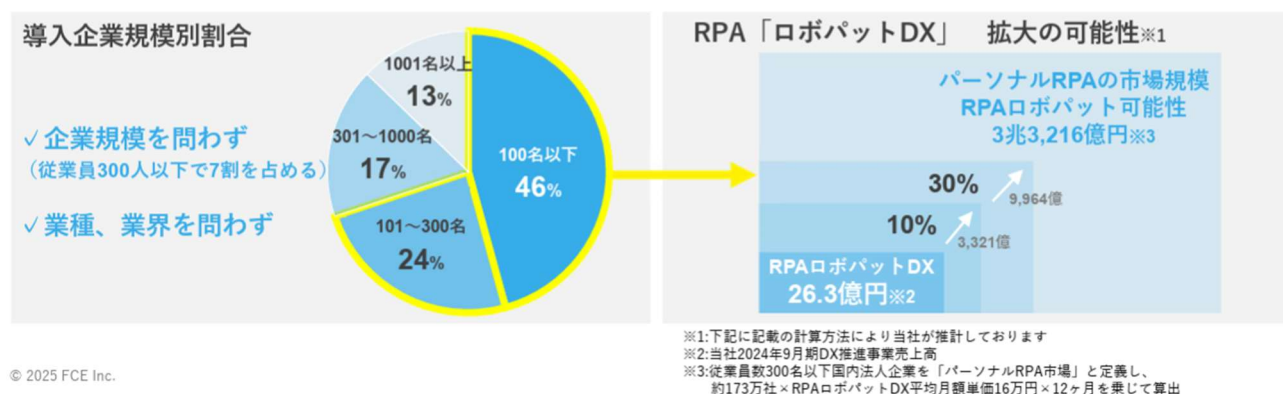
## 3. 充実の無料サポート

RPA ロボパット DX は、ツールを提供して終わりではなく、RPA が社内に定着し成果が出ること、お客様の導入目的を実現することこそ私たちの役割と考えています。活用を進めるために、上記のロボパットマスター認定プログラムをはじめ、さまざまなサポートを無料で提供しています

### ・RPA 市場における RPA ロボパット DX の可能性

当社では、RPA ロボパット DX が対象とする市場を“日本国内のすべての中小企業”と捉えています。実際、RPA ロボパット DX の導入企業の約 7 割が従業員 300 人以下であり、特定業種・業態に偏らずに導入が進んでいるのが特徴です。

パーソナル RPA 市場を国内の中小企業（従業員 300 名以下）と定義すると推計規模は 3 兆 3,216 億円（※4）。そのうち、RPA ロボパット DX が獲得できるポテンシャルは、現時点の売上約 26.3 億円（※5）に対して、数百倍規模の余地が存在しています。



また、MM 総研によると、中小企業の RPA 導入率は 15% となっており（※6）、導入率はここ数年右肩上がりです。また今後、さらに人財不足や人件費の高騰といった社会情勢も踏まえると、中小企業での RPA の導入がさらに進んでいくと考えています。

この数字が示す通り、RPA ロボパット DX はまだ“入り口”にすぎず、今後の展開によって、さらなる成長の可能性を秘めています。

### ・今後の展望

当社は今後も、「RPA ロボパット DX」の提供とあわせて、認定プログラムや活用支援を強化し、現場主導の DX を自走できる企業を全国に広げてまいります。“人に寄り添うテクノロジー”として、すべての

中小企業の働き方改革と生産性向上に貢献してまいります。

#### ・「RPA ロボパット DX」に関して

【RPA ロボパット DX についてのお問い合わせ】

<https://fce-pat.co.jp/contact/>

【RPA に関する資料】

DX 推進や RPA の理解を深めていただける各種コンテンツを用意しています。

<https://fce-pat.co.jp/download/>

【RPA に関する無料オンラインセミナー】

DX や RPA の基礎について解説するセミナーや DX の成功事例から学ぶセミナーを開催しています。

[https://fce-pat.co.jp/seminar\\_index/](https://fce-pat.co.jp/seminar_index/)

【PatLinkDB についてはこちら】

<https://patlinkdb.fce-pat.co.jp/>

#### ・株式会社 FCE

設立：2017 年 4 月 21 日

代表取締役：石川淳悦

証券コード：9564

本社：東京都新宿区西新宿 2-4-1 新宿 NS ビル 10 階

事業内容：DX 推進事業、教育研修事業、出版事業

URL：<https://fce-hd.co.jp/>

当社は「チャレンジあふれる未来をつくる」というパーパスのもと、人的資本の最大化に貢献することを使命とし、DX 推進事業と教育研修事業を展開しています。

【最強の IT ツール】として約 7300 製品中第 1 位（※）を獲得した「RPA ロボパット DX（<https://fce-pat.co.jp/>）」、社員教育を一つで完結できる定額制オンライン教育システム「Smart Boarding（<https://smartboarding.net/>）」、世界 4000 万部、国内 260 万部発刊の世界的ベストセラー『7 つの習慣』の出版（<https://fce-publishing.co.jp/>）、そして生成 AI 業務の生産性を爆発的に向上させる「FCE プロンプトゲート（<https://go.fce-promptgate.com/>）」、など中小企業から大企業まで、また全国の自治体や教育機関を対象に幅広く事業を展開しています。

※1：ITreview Best Software in Japan 2023／2023 年 5 月 24 日）

※2：ITreview Best Software in Japan 2024／2024 年 6 月 14 日）

※3：「BOXIL SaaS AWARD 2025」)

※4：「従業員数 300 名以下の法人企業」を対象とした FCE 試算

※5：2024 年 9 月期 DX 推進事業売上高ベース

※6：MM 総研「RPA 国内利活用動向調査 2024」（2024 年 3 月時点）